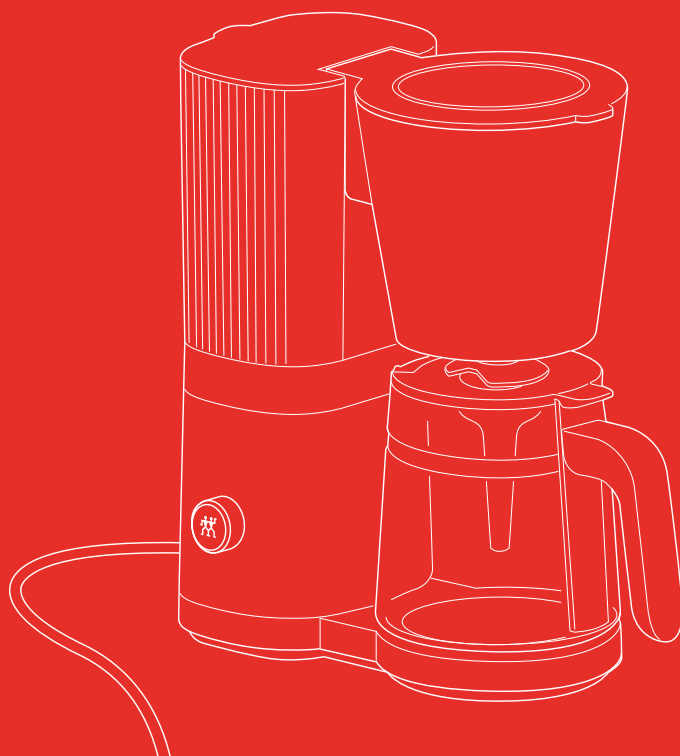




ZWILLING ENFINIGY®

53103

コーヒーマーカ一取扱説明書

もくじ

安全上のご注意	2
各部の名称	4
コーヒーを抽出する	5
保温について	8
タイマー機能を使う	9
時刻の設定	9
タイマーの設定	10
設定方法	11
水の硬度	11
操作音のオン/オフ	12
お手入れ方法	13
故障かな?と思ったら	15
仕様	16
アフターサービスについて	17
保証書	18

安全上のご注意

安全にご使用いただくために

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、いつでも見られるところに必ず保管してください。
- 本製品を第三者に譲渡する場合は、この取扱説明書も一緒にお渡しください。
- 取扱説明書の内容に沿って使用されない場合、深刻な危害や損害につながる恐れがあります。本取扱説明書に従わない使用においての事故や物損に関しては、弊社は一切の責任を負いかねます。



警告

誤った取扱いをした場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

！ 指示：実行していただく内容

- 交流 100V 以外で使用しない（日本国内専用）。
- 電源プラグはコンセントにしっかりと差し込む。
- お手入れの際には必ず、電源プラグをコンセントから抜く。
- 動作が通常と異なる場合や故障と感じたときにはただちに使用を中止する。
- 使用するときには、電源コードがねじれていたり、挟まっていないことを確認し、保温プレートに電源コードが触れないよう注意する。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグ部分を持って抜く。電源コードだけを持って本製品を持ち運ばないでください。
- 使用する前に、必ず本製品に損傷がないか確認する。損傷がある場合や故障している場合は、使用せずサービスセンターにご連絡ください。
- 本製品は、幼児の手の届かない場所に保管する。
- 本体に水をかけたり、水のかかるような場所で使用しない。感電する恐れがあります。
- 本体を水やその他の液体につけない。
- 本体を食器洗浄機や乾燥機には絶対に入れない。
- 抽出中に本体を移動しない。
- コーヒー抽出以外の目的で使用しない。

⊘ 禁止：してはいけない内容

- 専任の技術者以外は分解や修理をしない。
- 電源プラグや電源コードが傷んだり、ゆるいときは使用しない。
- 電源タップや延長ケーブルに接続して使用しないでください。
- 窒息の恐れがあるため、幼児の手の届くところに梱包材を置かない。
- めれた手で電源プラグをコンセントから抜き差ししない。
- 本製品を 8 歳未満の子供だけで使用させたり、お手入れさせない。身体的、感覚的、精神的能力が低下している人、または経験や知識が不足している人は、本製品の安全な使用について監督または指示を受けており、本製品の使用に起因する危険性を理解している場合にのみ使用できます。

安全上のご注意 (続き)

- 抽出中や抽出直後は、ガラスカラフェのガラス部や保温プレートなどの高温部に触れない。また、蒸気や熱湯で火傷をしないように注意する。
ガラスカラフェを持ち運ぶときは、取っ手を持ってください。
- ガラスカラフェは電子レンジで加熱しない。また、抽出後は急激に冷却しない。
- 本体が損傷していたり、ガラスカラフェにひびが入っているときは使用しない。
- 本体に異常が見られたり、落としたりした場合は、使用しない。



注意

誤った取扱いをした場合、軽傷を負う可能性または物的損害の発生が想定される内容を示します。

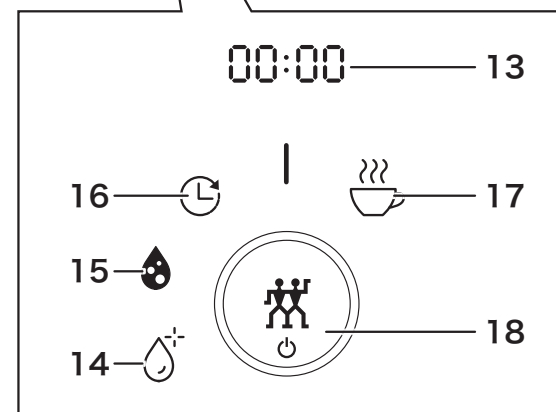
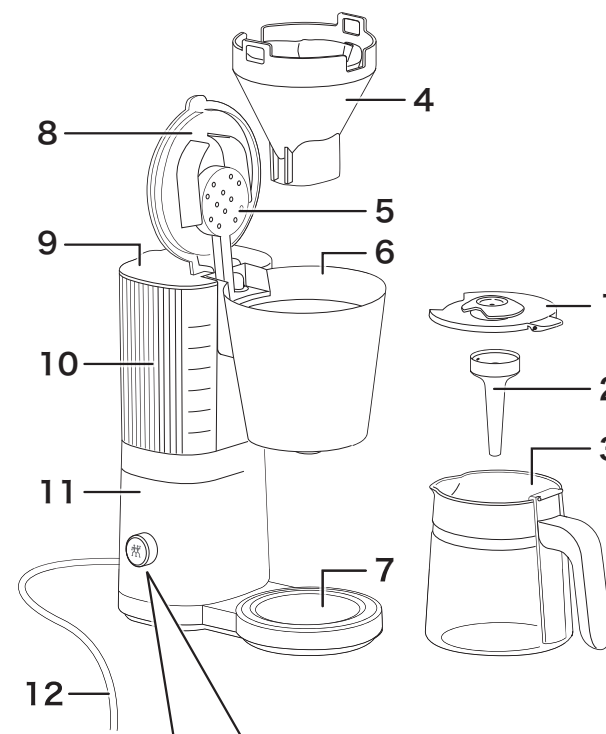
❗ 指示：実行していただく内容

- 使用しないときには電源プラグをコンセントから抜く。
- 液体物やほこりなどを電源プラグに付着させない。
- 持ち運び・お手入れ・保管は、本製品が冷めてから行う。

🚫 禁止：してはいけない内容

- 不安定な場所で使わない。
- 電源コードを持って本体を持ち運ばない。
- 直火の近くや、電磁調理器の近く、可燃物の近くで使用しない。
- 食器棚などに入れて使用しない。
- 本製品は家庭用のため業務用には使用しない。また、屋内で使用する。
- 本製品をタイマーなど外部スイッチ装置に接続したり、電源を定期的にオン/オフする回路に接続したりしない。
- 抽出中にガラスカラフェを取り出さない。
- ガラスカラフェをのせたまま、本製品を動かさない。
- 抽出中や抽出直後にフィルターふたを開けない。
- ウォータータンクが空の状態では電源を入れない。
- 抽出後はウォータータンクの水を空にして、定期的にお手入れをする。
- ガラスカラフェは本製品付属のものを使用し、他の容器は使用しない。魔法瓶やプラスチック容器、耐熱性のないガラス容器などは使用しない。
- ウォータータンクに水以外を入れない。
- 本製品は家庭用のため業務用には使用しない。また、屋内で使用する。
家庭に準じた、以下のような環境や状況では使用できません。
 - ・店舗やオフィスなど商業施設の従業員用キッチン ・農場
 - ・ホテルや旅館、B&Bなどの宿泊施設で宿泊客が使用する場合

各部の名称



1	ガラスカラフェふた
2	アロマホッパー
3	ガラスカラフェ
4	フィルターホルダー
5	抽出ヘッド
6	バスケット
7	保温プレート
8	フィルターふた
9	ウォータータンクふた
10	ウォータータンク
11	本体
12	電源コード

13	表示画面
14	クリーニングランプ
15	水硬度設定
16	タイマーランプ
17	抽出ランプ
18	ダイヤルボタン

はじめてご使用になるときは

13 ページを参照して各部品を洗浄してください。

洗浄後、ウォータータンクに水を入れ、コーヒー粉とペーパーフィルターをセットしない状態で抽出の手順を行ってください。

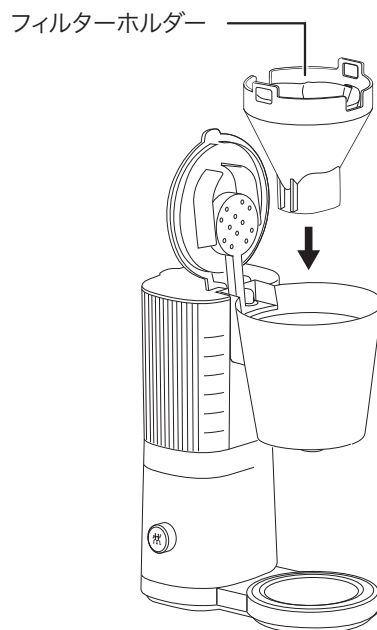
コーヒーを抽出する

本製品のほかに、市販のペーパーフィルターを別途ご用意ください。

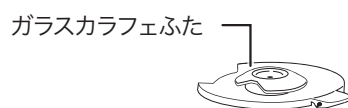
1 本製品を組み立てる

- ① フィルターホルダーをバスケットに取り付けます。

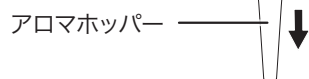
フィルターホルダーを右図の向きでバスケットに入れます。
カチッと音がするまで、軽く押し込んでください。



- ② アロマホッパーをガラスカラフェふたに取り付けます。



- ③ ガラスカラフェふたをガラスカラフェに取り付けます。



- ④ ガラスカラフェを保温プレートの中央に置きます。

ガラスカラフェが中央に置かれていないと、フィルターホルダーのバルブが開かず、フィルターホルダーからコーヒーがあふれることがあります。

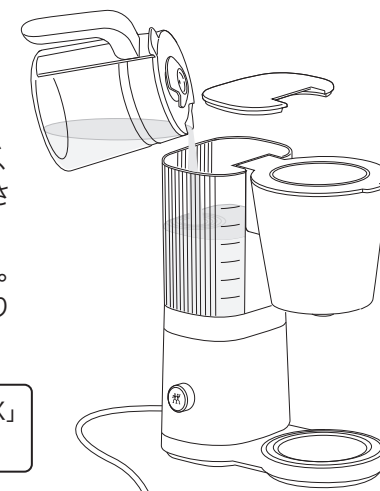


2 ウォータータンクに水を入れる

抽出する分の水を入れ、ウォータータンクふたを閉めます。

- 手順⑥で設定するカップ数にかかわらず、ウォータータンクに入れた水はすべて使用されます。抽出する分量のみ入れてください。
- ガラスカラフェはできあがり量の目安です。ウォータータンクの水量目盛とは多少異なります。

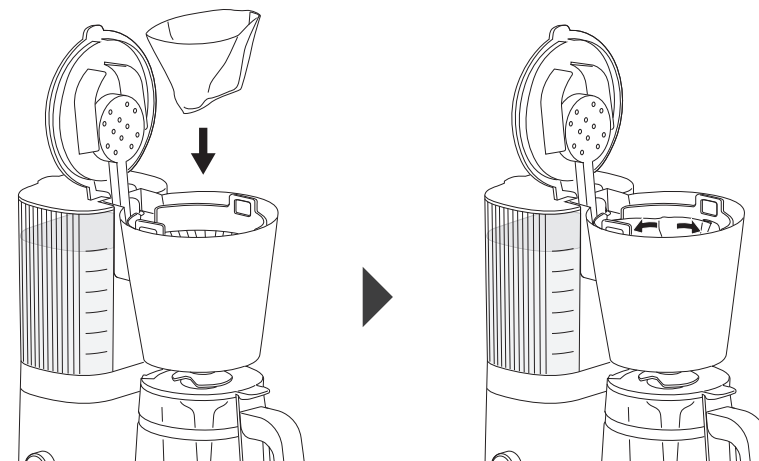
⚠ 注意 ウォータータンクの見盛りの「MAX」以上は水を入れないでください。



3 フィルターホルダーにペーパーフィルターを取り付ける

下図の向きで、市販のペーパーフィルターを取り付けます。
ペーパーフィルターをフィルターホルダーの側面に軽く押し付けて、位置がずれないようにしてください。

- ペーパーフィルターは抽出する量に合わせたサイズをお使いください。



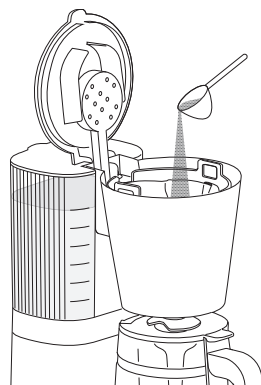
コーヒーを抽出する (続き)

4 コーヒー粉を入れる

コーヒー粉を入れ、フィルターふたを閉めます。

＜コーヒー粉の目安＞

抽出量	コーヒー粉の量
1 杯分 (125cc)	8 ～ 10g
2 杯分 (250cc)	15 ～ 17g
3 杯分 (375cc)	23 ～ 25g
4 杯分 (500cc)	31 ～ 33g
5 杯分 (625cc)	39 ～ 41g
6 杯分 (750cc)	47 ～ 49g
7 杯分 (875cc)	55 ～ 57g
8 杯分 (1000cc)	63 ～ 65g
9 杯分 (1125cc)	70 ～ 72g
10 杯分 (1250cc)	78 ～ 80g



注意

コーヒー粉は 100g 以上入れないでください。
コーヒーがあふれる恐れがあります。

- 挽いたコーヒーをお使いください。
- コーヒーによって適量は異なります。パッケージ等の容量を参考に調整してください。
(SCA 推奨比率 コーヒー：水 1：16)

5 電源プラグをコンセントに接続する

6 コーヒーを抽出する

- ① 抽出 (☕) が点滅するまで、ダイヤルボタンを時計回りに回します。
- ② ダイヤルボタンを押します。
「ピッ」と音が鳴ります。
- ③ ダイヤルボタンを回してカップ数を選択します。
- ④ ダイヤルボタンを押します。
「ピッ」と音がして、コーヒーの抽出が始まります。



7 抽出後、ガラスカラフェを取り出して、カップにコーヒーを注ぐ

抽出が終了すると、抽出 (☕) が点滅から点灯に変わります。

- 抽出後は 30 ～ 60 秒ほど待ち、コーヒーが落ちきってからガラスカラフェを取り出してください。
- 抽出後は、自動で保温が開始されます。
- 120 分間経過すると、自動的に電源がオフになります。
保温を中断する場合は、ダイヤルボタンを押してください。



警告

抽出中および抽出直後は、ガラスカラフェのガラス部や保温プレートなどの高温部に触れないでください。
ガラスカラフェを取り出す際は、必ず取手を持ってください。

保温について

- 長時間保温するとコーヒーの風味が損なわれます。抽出後なるべく 30 分以内にお飲みください。
- ガラスカラフェのコーヒーが 1 杯未満の場合は、カラフェを保温プレートから外し、保温しないようにしてください。
コーヒーが蒸発して空だきとなり、ガラスカラフェが割れ、故障の原因となります。

タイマー機能を使う

指定した時刻に抽出が開始されるように設定することができます。

● 設定した時刻・タイマーは、電源プラグをコンセントから抜くとリセットされます。

時刻の設定

タイマー機能を使用する前に時刻を設定してください。

1 タイマーランプ(⌚) が点滅するまで、ダイヤルボタンを反時計回りに回す

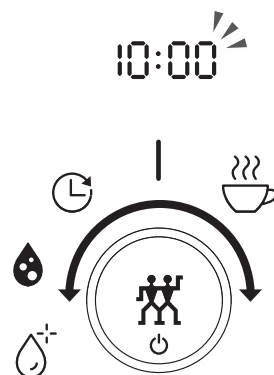


2 ダイヤルボタンを約3秒間長押しする

表示画面で時刻の表示が点滅して、時刻の「時」の設定画面になります。

3 時刻を設定する

- ① ダイヤルボタンを回して「時」を設定し、ダイヤルボタンを押して決定します。
「ピッ」と音が鳴って、時刻の「分」の設定画面になります。
- ② ダイヤルボタンを回して「分」を設定し、ダイヤルボタンを押して決定します。



タイマーの設定 (時刻設定の後で)

1 タイマーランプ(⌚) が点滅するまで、ダイヤルボタンを反時計回りに回す

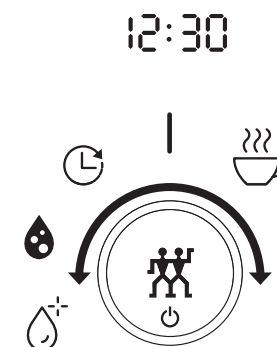
2 ダイヤルボタンを押す

「ピッ」と音が鳴り、抽出開始時刻の「時」の設定画面になります。



3 タイマーを設定する

- ① ダイヤルボタンを回して「時」を設定し、ダイヤルボタンを押して決定します。
「ピッ」と音が鳴って、抽出開始時刻の「分」の設定画面になります。
- ② ダイヤルボタンを回して「分」を設定し、ダイヤルボタンを押して決定します。



4 水・ペーパーフィルター・コーヒー粉を準備する

設定した時刻までに、通常の抽出時と同様の準備をしてください。

設定方法

水の硬度

コーヒー抽出時に使用する水の硬度を設定します。

- 1 水硬度設定(💧)ランプが点滅するまで、ダイヤルボタンを反時計回りに回す

- 2 ダイヤルボタンを押す

「ピッ」と音が鳴り、水の硬度の設定画面が点滅表示されます。



- 3 ダイヤルボタンを回して、水の硬度の設定を選択する

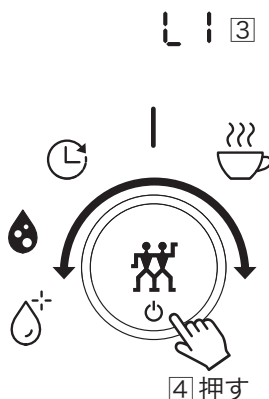
設定は以下の3段階です。

L1	軟水
L2	中程度の硬度
L3	硬水

- 日本の水道水はほとんどが「L1」（軟水）です。
- 初期設定は「L2」です。

- 4 ダイヤルボタンを押して、設定を保存する

電源プラグをコンセントから抜いても、設定は保持されます。



操作音のオン／オフ

操作音のオン／オフを設定します。

- 1 ダイヤルボタンを反時計回りに回してから、時間が再び表示されるまで時計回りに回す

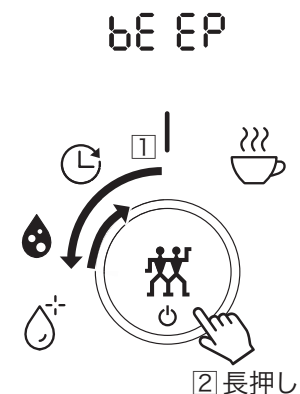
- 2 ダイヤルボタンを約3秒間長押しする

- 3 表示画面に「bEEP」と表示されたら、ダイヤルボタンを押す

- 4 ダイヤルボタンを回して設定する

YES	操作音オン
NO	操作音オフ

- 5 ダイヤルボタンを2回押して、設定を保存する



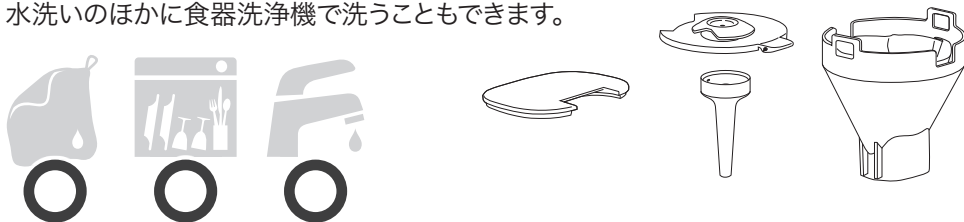
お手入れ方法

- ⚠ 警告**
- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 本製品が十分に冷めてからお手入れしてください。

- はじめてご使用になるときや、3日以上ご使用にならなかった場合は、市販のペーパーフィルター・コーヒー粉をセットしないまま運転させて本体内部を洗浄してください。

ウォータータンクふた、ガラスカラフェふた、アロマホッパー、フィルターホルダーのクリーニング

水洗いのほかに食器洗浄機で洗うこともできます。



ガラスカラフェのクリーニング

水洗いしてください。

- 食器洗浄機は使用しないでください。



本体、ウォータータンク、フィルターふた、保温プレート、バスケット、抽出ヘッドのクリーニング

本体、および本体から取り外せない部品は、水分を含んだやわらかい布地で拭き取ってください。



クリーニング

使っているうちに、水に含まれているミネラル分が本体の水管や容器に付着してきます。

付着すると湯が出にくくなり、コーヒーの抽出が遅くなります。

クリーニングランプ (🕒) が点滅したら、10回使用する前に必ず以下の手順でスケール除去を行ってください。



1 ガラスカラフェを保温プレートの中央に置く

2 電源プラグをコンセントに接続する

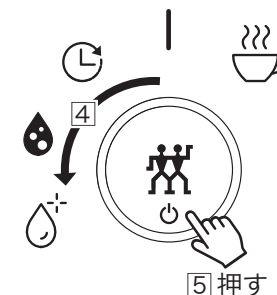
3 ウォータータンクに、1リットルの水とクエン酸10g(大さじ2)を入れて、はしなどで混ぜる

4 表示画面に「CLN」と表示されるまで、ダイヤルボタンを反時計回りに回す

5 ダイヤルボタンを押す

「ピッ」と音が鳴り、クリーニングが開始されます。

- クリーニングは最長で15分かかります。



6 クリーニング終了後、ガラスカラフェにたまった水を捨てる 空になったガラスカラフェは元の位置に戻してください。

7 再度、ウォータータンクに水を入れる

ウォータータンクを目盛りの「MAX」まで水を入れます。

8 ダイヤルボタンを時計回りに回して抽出(☕)を選択し、ダイヤルボタンを押す

コーヒー粉はセットしないでください。

9 ガラスカラフェにたまった水を捨てる

故障かな?と思ったら

下記の対処をしても改善しない場合は、サービスセンターまでご連絡ください。

こんなときは	考えられる原因	対処方法
コーヒーにコーヒー粉が混ざっている。	抽出中にペーパーフィルターがずれた。	ペーパーフィルターをフィルターホルダーの側面に軽く押し付けてください。
	ガラスカラフェが正しく設置されていない。	ガラスカラフェふたを閉めてください。 保温プレートの中央部にガラスカラフェを置いてください。
	ペーパーフィルター内のコーヒー粉が多すぎる。	コーヒー粉の量を減らしてください。
抽出が開始されない。	クリーニングを行う必要がある。	クリーニングを行ってください (→ 14 ページ)。
	カップ数が選ばれていない。	抽出するカップ数を設定する必要があります。 カップ数を設定してから、再度ダイヤルボタンを押してください。
運転が開始されない。	電源プラグがコンセントに差し込まれていない。	電源プラグを確認してください。
コーヒー粉があふれる。	コーヒー粉が細かすぎる。	コーヒー豆を少し粗目に挽きます。 もしくはコーヒーの量を減らしてください。
	ペーパーフィルターがフィルターホルダーから浮いている	ペーパーフィルターは折ってからセットしてください。
	100g 以上のコーヒー粉を入れた。	コーヒー粉の量を減らしてください (最大量 100g)。
フィルターホルダーからコーヒーがあふれる。	ガラスカラフェの位置がずれている。	ふたを取り付けたガラスカラフェを抽出ヘッドの下中央に置いてください。 フィルターホルダーのバルブが開き、コーヒーがカラフェに移ります。
水が漏れる。	フィルターホルダーが確実に取り付けられていない。	フィルターホルダーは、バスケットに軽く押し込むように取り付けてください。
	ガラスカラフェの位置がずれている。	ガラスカラフェは、抽出ヘッドの下中央に置いてください。
	ガラスカラフェふたを利用していない。	ガラスカラフェふたを取り付け、ガラスカラフェふたの中央が抽出口のバルブの下にくるように置いてください。
保温がされていない。	切り忘れ防止のため、保温は約 2 時間で自動的に切れます。	—

仕様

製品仕様	53103
定格電圧	AC100V/50-60Hz
定格消費電力	1350W
製品重量	約 2.65kg
製品サイズ (幅 × 奥行き × 高さ)	290×155×350mm
容量	1.25L
電源コードの長さ	100cm

アフターサービスについて

- 保証書について 保証期間はご購入日より 1 年間です。
 - 保証書はこの取扱説明書の裏面ページに付いておりますので、必ず「販売店名」「ご購入日」が記入されていることをお確かめになり、保証内容をよくお読みになった後、大切に保管してください。
- ご使用中に異常を感じたとき
 - ご使用を中止し、ご購入日販売店に点検・修理を依頼ください。お客様自身での修理は大変危険です。
- 修理をご依頼される時
 - 保証期間中はご購入の販売店に保証書を提示のうえ、お申し付けください。
 - 保証期間が過ぎているときはご購入日販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 補修用性能部品の保有期間について
 - 商品の補修用性能部品（商品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は製造打ち切り後 6 年となります。
- アフターサービスについてご不明の点があるとき
 - ご不明な点やご相談は、ご購入の販売店または当社サービスセンターへお問い合わせください。
- 製品の廃棄について
 - お住いの自治体が定めている内容を確認の上、廃棄してください。

修理のご依頼、お問い合わせ

ツヴィリング J.A. ヘンケルスジャパン株式会社
家電製品サービスセンター

〒501-3911 岐阜県関市肥田瀬 4064 番地

0120-75-7155

受付時間 10:00 ~ 17:00（平日 12:00 ~ 13:00、土・日・祝日を除く）

無料修理規定

ご購入日より保証期間中に、取扱説明書に従った正常な使用方法で故障した場合において、本書記載内容に基づき、ご購入日販売店が無料修理の対応をいたしますので商品と本保証書をご提示の上、ご購入日販売店にご依頼ください。

保証期間内でも次のような場合には有料修理となりますのでご注意ください。

- ① 使用方法の誤りや不当な修理による故障または損傷。
- ② お買い上げ後の落下、輸送などによる故障または損傷。
- ③ 火災、地震、水害、落雷などの天災ならびに公害や異常電圧などの外部要因による故障または損傷。
- ④ 業務用としての使用（一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷）。
- ⑤ 本書の提示がない場合や、本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合。
- ⑥ 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
- ⑦ 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

保 証 書					持込修理	
品 名	コーヒーマーカー		型番	53103	保証対象	本 体
保証期間	ご購入日より 1 年間		ご購入日	年 月 日		
★ お 客 様	ご芳名		★ 販 売 店	店 名		
	ご住所					
	お電話					

- この保証書は本書に明示した期間、条件をもとにおいて無料修理をお約束するものです。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ご購入日販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。
- 当製品の保証日にご記入いただいた、お客様の個人情報は、修理対応の際に使用します。それ以外の目的で使用したり、第三者に提供する事は一切ございません。

ツヴィリング J.A. ヘンケルスジャパン株式会社 〒501-3911 岐阜県関市肥田瀬 4064 番地



ツヴィリング J.A. ヘンケルス ジャパン株式会社

ZWILLING J.A. HENCKELS JAPAN LTD.

〒501-3911 岐阜県関市肥田瀬 4064 番地

お客様相談係 0120-75-7155